

2022 年度 出前授業メニュー

表現文化学科

■西大寺のはじまりと奇跡の物語

『備前国西大寺縁起絵巻』（室町時代原作）には、西大寺のはじまりと数多の奇跡が表現されています。その詞と絵から、当時の人々の信仰をのぞいてみます。

担当：川崎 剛志（教授 担当科目：日本文学 他）

■書籍メディアと庶民文化―草双紙から電子書籍まで―

江戸時代の草双紙、昭和 20 年代の講談本など現物の資料をもとに書籍メディアの変容の様子を概観し、それら資料から読み取れる庶民文化のありかたの変化を考えます。

担当：中西 裕（教授 担当科目：情報と文化 他）

■身体で伝える 身体が語る

国籍を問わず誰もがもつ身体。身体は時に饒舌で、うまく言葉にならないときや、もどかしく通じ合えない場を一転させる力をもっています。簡単な即興ワークを楽しみながら、自らと他者の身体で交換されるエネルギーを観察し、味わってみましょう。

担当：岡本 悦子（教授 担当科目：表現創造 他）

■無限の哲学

私は哲学を研究しています。

特に無限について関心があります。

無限とは「限りがない」ということです。

自然数（正の整数）は無限にあります。

実数（整数・有理数・無理数）も無限にあります。

自然数と実数、どちらも無限です。

それでは、どちらも同じ量の無限なのでしょうか。

限りがないものについて、「多い」とか「少ない」とか、言うことができるのでしょうか。

じつは言えるのです。でも、どうやって？

いっしょに無限について考えてみましょう。

担当：松本 潤一郎（准教授 担当科目：言語表現史 他）

■モノの伝えられ方

江戸時代の岡山藩主池田家が所蔵していた膨大な文化財が、明治時代以降にどうなったのかを例に、資料の伝えられ方を探ります。

担当:浅利 尚民（准教授 担当科目：博物館資料論 他）

■日本語の歴史を辿る

中高で学ぶ古典語は、「使われなくなった言葉」と思っていないですか？ 実は、現代語の中にも沢山の古典語が形を変えながら息づいています。この講義では、古典語と現代語の繋がりを見ながら、「言葉の変化」について考えていきます。

担当：岩田 美穂（准教授 担当科目：日本語学 他）

■『源氏物語』のことば

『源氏物語』には美しいことばや優れた表現がたくさん出てきます。これらはすべて作者が考えたオリジナルなののでしょうか？ オリジナルでないとすると、どういう人が使っていたことばなのでしょう？ そのような視点で『源氏物語』のことばを見ると、物語の解釈まで変わってきます。「ことば」に焦点をあてながら、『源氏物語』の魅力にふれてみましょう。

担当：瓦井 裕子（講師 担当科目：日本文学 他）

■小説の仕組み

評論文に比べて、小説が〈読みにくい〉と感じる方もいるのではないのでしょうか。

恐らくそこには、〈小説は主観的にしか読めない〉という思い込みが関係しています。

この授業では、小説を成立させている〈仕組み＝論理〉について考えることで、そうした思い込みを解きほぐしたいと思います。

担当：坂 堅太（講師 担当科目：日本文学 他）

実践英語学科

■ポピュラーソング”Tom’s Diner”を通じて英語を学ぼう

音楽を聞いて、歌詞を聞き取り理解します。その後その歌の内容についての理解を深めます。グループごとの活動で勝敗を競うという、英語のリスニングから理解までがゲーム感覚で学べる授業です。

人数制限：30人 授業対応：対面

担当：ジェニファー・スコット（教授 担当科目：英語ライティング 他）

■アメリカ文化と音楽

アメリカの代表的な音楽を紹介し、それについての背景を説明します。また音楽を使い、英語のゲームを行います。

担当：ローレンス・ダンテ（教授 担当科目：英語教育 他）

■多義語の問題

ひとつの英単語に複数の意味があることはよくあります。その意味と意味の関係はどうなっているのか

を考えてみたいと思います。

担当：小田 希望（教授 担当科目：英語学 他）

■通訳の世界へようこそ

通訳とはどのような仕事でしょうか？英会話や翻訳との違いは何でしょうか？奥の深い通訳の世界を、実際に携わった仕事のエピソードを交えながら、楽しく体験してみましょう。

担当：武部 好子（准教授 担当科目：通訳・翻訳 他）

■英語の姿かたちを削り出す

英和辞典でひとつの語の使い方を観察すると、英語を母国語とする人々がその語の姿かたちをどのように捉えているのかが見えてきます。英和辞典を片手に、その姿かたちを捉えてみましょう。

担当：西谷 工平（准教授 担当科目：英語学 他）

■外来語（Loan Words）

外来語が全て英語だとは限りません。日本語で使われている外来語を例に挙げて、その外来語がどこの国の言葉なのかを予想し、英語ではどのように言うのかを学習します。

人数制限：なし 授業対応：対面・リモート

担当：デイビッド・タウンゼンド（准教授 担当科目：英語コミュニケーション 他）

総合歴史学科

■実在しない天皇

日本史に関する本の中に「〇代●●天皇」との表記が見られます。神武天皇から数えた代数を示していますが、果たしてどれだけの天皇が実在したのでしょうか。「作られた天皇系譜」というテーマで古代の歴史を考えてみたいと思います。

担当：鈴木 琢郎（准教授 担当科目：日本史 他）

■中世の荘園を理解する

高校の日本史でも難しいとされる荘園の成り立ちやしぐみについて、具体的な例をあげながら、わかりやすく解説します。

担当：苅米 一志（教授 担当科目：日本史 他）

■近世都市大坂における庶民の暮らし

江戸時代には、親孝行な人物や忠勤な奉公人がしきりに褒賞されました。その関連史料からは、様々な職業にたずさわりながら日々を送る庶民の姿が見えてきます。これらを利用して、男性と女性のライフサイクルを具体的に考えてみたいと思います。

担当：三田 智子（准教授 担当科目：日本史 他）

■ヨーロッパの中世の人々の日常をのぞく

国王・皇帝・政治・外交・・・そんな国と国とのやり取りとは程遠いところで生活していた中世ヨーロッパの一般住民の思想や生活習慣について、同時代の主に文字史料を用いて解説します。

担当：小林 亜沙美（准教授 担当科目：ヨーロッパ・アメリカ史 他）

■出土文字資料よりみる秦の始皇帝

秦の始皇帝の実像や当時の政治・社会の特色について、最新の出土文字資料（竹簡・木簡など）を用いて解説します。

担当：渡邊 将智（准教授 担当科目：アジア史 他）

■イスラームを知ろう

ノーベル平和賞受賞者マララ・ユースフザイさんはなぜテロにあったのか、という問いから始めて、現代のイスラームについて女性の視点を交えて考えましょう。

担当：井上 あやか（教授 担当科目：アジア史 他）

初等教育学科

■おもしろ理科実験&工作

身近なものを使って簡単な理科実験や工作を楽しんでみましょう。大人も子どももサイエンスレンジャーがコツを伝授いたします。

担当：福井 広和（教授 担当科目：理科教育法 他）

■国語の授業をつくってみよう

小学校の国語の教科書教材を取りあげて、その授業をつくる手順やコツを教えるので、それに沿って、自分で1時間の授業案をつくったり先生を演じてみたりしませんか。

担当：丹生 裕一（教授 担当科目：国語科教育法 他）

■ムカッ！としたとき

皆さんはちょっとしたことで腹をたて、人との関係を悪くしたことはありませんか？腹が立ったとき、うまく気持ちをコントロールし相手に自分の思いをきちんと伝えるにはどうしたらよいか一緒に考えてみませんか。

担当：岡田 信吾（教授 担当科目：知的障害児教育 他）

■記憶の心理学

ひとくちに「記憶」といっても、さまざまな種類の「記憶」があります。この講座では、ワーキングメモリの性質を学びます。そして、それらをふまえた学習支援のコツを考えましょう。

担当：原 奈津子（教授 担当科目：教育心理学 他）

■幼児の造形「表現」とは

子どもの造形活動は、大人のそれとは目的が大きく異なります。「表現」という視点を大切にして、子どもの造形を体験してみましょう。

担当：藤田 知里（准教授 担当科目：図画工作 他）

■わらべうた遊びを体験してみよう

子どもは、わらべうたで遊びながら多くのことを学んでいます。子どもは、わらべうた遊びを通して何を学ぶのでしょうか。わらべうた遊びを体験しながら、一緒に考えませんか。

担当：小林 佐知子（准教授 担当科目：幼児の音楽表現 他）

教育心理学科

■「見る」ことを心理学する

「見る」ことは日常生活で欠かせない活動です。心理学では、見ることの機能や仕組みを研究しています。それらを紹介し、見る活動が様々なものを生み出していることを理解しましょう。

担当：鈴木 国威（教授 担当科目：知覚・認知心理学 他）

■こころのピントを合わせよう！～ネガティブ思考脱出法～

物事の捉え方は十人十色ですが、いつもなぜか悪い方向に解釈してしまうクセはありませんか？そんなクセを現実に即した方向に修正していく方法について、一緒に考えていきましょう。

担当：堀田 裕司（講師 担当科目：産業・組織心理学 他）

■無意識の世界の探求～精神分析的心理療法～

自分のことは自分が一番わかってる。ほんとにそうでしょうか。私たちの心の中には、自分でも知らない領域があります。それが無意識です。一緒に探求して、自己理解を深めてみませんか。

担当：林 秀樹（講師 担当科目：心理検査法実習 他）

■微生物がヒトに感染すると、ヒトはどうして病気になるの？

細菌やウイルスなどの微生物がヒトに感染すると、お腹を壊したり、風邪を引いたりします。

どうしてそのような症状がでるのでしょうか？その原因を一緒に考えてみましょう。

担当：森 宏樹（教授 担当科目：微生物学 他）

■運動ってなんだ？～Exercise is Medicine～

健康づくりや体力・運動能力の向上ために運動をどう行うべきなのか？万能薬となる運動の不思議や素朴な疑問を科学的な観点から考え、体験し、運動と向き合ってみましょう。

担当：森村 和浩（准教授 担当科目：身体運動と健康の科学 他）

経営学科

■日本の食料自給率と世界の食料問題

日本は食料自給率が低くても仕方がない要因をもっています。この要因を解説するとともに、1960 年以降、食料自給率が低下した要因を解説します。そして、この低下した要因が開発途上国の食料不足・栄養不足と関連していることを解説して、われわれの食生活を考えます。

担当：古塚 秀夫（教授 担当科目：農業経済学 他）

■データサイエンス入門

データサイエンスは、現代のビジネス社会に生きる上での必須スキルとなってきました。本講では、身近な事例や企業での事例を紹介しながら、統計データやグラフを使って、現状を理解する・問題解決のヒントにする・他人を納得させる・新たな価値ある情報を生み出すといったデータサイエンスの威力をわかりやすく解説します。

担当：林 俊克（教授 担当科目：サービス工学論 他）

■観光学入門

人はなぜ旅に出るのでしょうか。古来より、人はさまざまな理由や目的で居住地を離れ、移動するということをしてきました。グローバル化を迎えたこんにち、国境を越えて移動する人の数はますます増加傾向にあります。この講義は観光学の入門として、観光の現状と新たな動向を紹介します。特に観光者である『ゲスト』の行動に着目しその動機づけと、観光者を迎える地域や社会といった『ホスト』とのインターラクティブな関係について、文化人類学的な視点で考察を試みます。それを通じて、観光者にとって魅力ある観光地とはどのようなものかを考える方法としての基礎的な知識を紹介します。

担当：八巻 恵子（教授 担当科目：観光マネジメント他）

■経営組織論入門～良い組織をつくるには？～

高校のビジネス基礎の授業などではあまり扱わない「組織論」を取り上げます。

「組織とは何か？」「良い組織を作るためには何を考えるべきか？」などについて

生徒の皆さんと一緒に考えたいと思います。

担当：日高 靖和（教授 担当科目：経営組織論 他）

■岡山県の経済動向

社会人生活を過ごすうえでは、会社だけではなく個人の生活においても、お金の問題は必ず関係します。社会経済生活を過ごすうえで、経済との関わり合いは避けては通れません。岡山県の経済動向を例に身近なお金の話に加え、仕事に関わる大きな経済の動きについて、解説します。

担当：宮前 善充（教授 担当科目：マクロ経済学、経済学概論 他）

■日本の雇用の現在と将来

企業にとって、優れた従業員を確保することは重要な課題です。この講義では、①従来の日本の企業ではこの課題に取り組むために、従業員をどのように採用・育成しようとしてきたのか、②そのあり方は他国とどのように違っていて今後どのように変わっていくと考えられるのか、雇用や働き方に関する現状とその特徴を解説します。

担当：堀 圭介（准教授 担当科目：経営管理 他）

■管理会計と企業管理

会社が生き残るために「もうけ」は欠かせません。では、もうけを出すために、会社はどのような工夫をし、そのことに会計はどう関わってきたでしょうか。また、社会が変化していく中で、これからの会社を支援する会計のしくみはどのようなもののでしょうか。管理会計の視点から考えます。

担当：鈴木 新（准教授 担当科目：管理会計 他）

■戦略とはなにか？：市場競争の中の企業

企業は、市場競争のなかで製品・サービスを売る存在です。その競争の場には、顧客やライバル企業はもちろんのこと、生産や販売に協力する企業、あるいは政府といったさまざまな「プレイヤー」が関与し、企業はそのなかでみずから主導権を握らなくてはなりません。そのための行動を「戦略」と言います。この講義では経営戦略の基本的な考え方について具体例を交えつつ講義します。

担当：大倉 健（准教授 担当科目：経営戦略 他）

■家電流通史から見るタテの競争

企業間競争という場合、同種の製品を作る企業同士が製品の機能や価格などで優劣を競っていること（ヨコの競争）をイメージされることが多いのではないのでしょうか。本講義では、家電流通の歴史を題材に、取引相手との利益の奪い合いの在り方がどのように変遷してきたのか（タテの競争）という点を中心に検討していきます。

担当：青山 允隆（准教授 担当科目：商業学 他）

■よい企業の条件とは

「よい企業とはどのような企業か」と問われた時、皆さんは何と答えますか。一昔前までは「利益を多く稼ぐ企業」がよい企業だとされてきましたが、現在では少し状況が変わってきました。もちろん「どれくらい稼いだか（結果）」という点は企業として重要ではありますが、これに加えて「どのように稼いだか（プロセス）」という点がより一層大切になってきています。近年では、SDGsへの関心も高まっていますが、本講義ではそのような時代における「よい企業の条件」を考えてみたいと思います。

担当：大塚 祐一（講師 担当科目：企業倫理、企業と社会 他）

■会社はどんなことにお金を使っているの?—財務諸表から企業の活動を読み取る—

大きな会社は、様々な人々からお金を提供してもらって様々な活動を行っています。たとえば、車を売っている会社であれば、車を作るのに必要な材料を仕入れて、材料を加工し、それを組み立てて、車が完成したら、その車の宣伝をして、ショールームで車を販売していますよね。世の中には様々な会社があるので、行っている活動も色々あります。会社の活動の元手となるお金が、実際に会社でどのように使われているのかは、皆さんにとっても気になるところではないでしょうか？実は、会社がどのようにお金を使ったかは皆さんでも知ることができます。この講義を通じて、ある会社でどのようにお金が使われたのか、自分で読み取れるようになることを目指します。

担当：増子 和起（講師 担当科目：財務会計 他）

■マーケティング・リサーチ入門

企業が効果的なマーケティングを行うためには、消費者の選好・行動などを調査・分析し、うまくいくための手がかりを得ることが重要です。そこで、仮説を立てて、データを集めて分析し、企業経営に役立てていく方法について考えます。

担当：古安 理英子（講師 担当科目：マーケティングリサーチ入門 他）

薬学科

■やさしい遺伝子診断と遺伝子治療の話

ヒトゲノムの解明で進む遺伝子診断や遺伝子治療の様子を、最近話題の個別化医療も含めてわかりやすく解説します。

担当：中西 徹（教授 担当科目：生物系薬学他）

■科学系、医療系を目指す人たちへのキャリア教育

理科、特に科学系、医療系職業を目指す生徒さんに、具体的に職業の内容、必要な技能や資格、心構え、勉強方法などについてやさしく解説します。

担当：中西 徹（教授 担当科目：生物系薬学他）

■感染から発症まで ～正しく知って、正しく防ごう～

新型コロナウイルスの出現は世界を震撼させましたが、インフルエンザやノロウイルス感染症等、私たちの身近には多くの感染症が潜んでいます。どのように感染し発症に至るのかを知り、予防や感染対策について考えましょう。また、話題の新型コロナウイルスワクチンなど、注目すべき感染症のトピックスをわかりやすくお話します。

担当：塩田 澄子（教授 担当科目：臨床微生物学 他）

■抗インフルエンザ薬、タミフルはどのようにして誕生したのか？

薬を創ることの難しさを解説しながら、インフルエンザウイルスの増殖を抑える薬であるタミフルがどのようにして効果を示すのか、そのメカニズムの解説とその誕生の経緯について紹介します。

担当：平岡 修（教授 担当科目：生物系薬学 他）

■酸素は毒だ

普段何気なく吸っている酸素は動物の生命維持に不可欠ですが、活性酸素に姿を変えると様々な毒性を示します。活性酸素の毒性や有益な作用を解説し、酸素と寿命の関係や、動物が酸素の毒性をどのように回避しているかを紹介します。

担当：平本 一幸（准教授 担当科目：衛生化学他）

■知ってほしい！薬物乱用の怖さ

薬物乱用は心身を著しく害し、本人だけでなく家族や周囲の人達にも多大な悪影響を及ぼします。薬物乱用防止教育の観点から、薬物依存に至るメカニズムや症状を中心に簡単な実験を織り交ぜながらお話しします。

担当：加地 弘明（准教授 担当科目：薬局管理学 他）

■知っておきたい薬のあれこれ

飲み合わせってなに？副作用はどうして起こるの？病気は薬で治すことが多いですが、よく分からないことも多いのではないのでしょうか。知っておくと医師・薬剤師の話がよく分かる、そんな、大人になっても役立つ薬の舞台裏を分かりやすくお話しします。

担当：田坂 祐一（講師 担当科目：臨床系薬学 他）

■先端科学が切り拓く未来の医療

古来より、医療には時代に即した最先端の科学技術が取り入れられてきました。現在も画期的な治療法の開発や薬づくりを目指して、世界中で様々な手法が積極的に活用されています。疾病の克服や治療薬の開発に向けて奮闘してきた先人達の足跡をたどるとともに、これからの医療について紹介します。

担当：森 秀治（教授 担当科目：薬理学，薬物治療学 他）

幼児教育学科

■これからの時代を生きていく君たちに必要なこと(キャリア教育)

素晴らしい可能性を持った若者たちの多くは「磨かれないまま」または、「何をどう磨くのか見いだせないまま」何かしら自信なさげに生きていることが多いようです。しかし、私が今まで出会った小学生から大学生たちの中には、日々の習慣を見つめなおし、積極的に「人と、社会と、自然とつながる」ことで奇跡的な変貌を遂げていった人が数多くいます。

knowing the good, loving the good, doing the good. 君の可能性を開花させる学びを、さあ始めよう!!

担当: 小谷 彰吾(教授 担当科目 : 教師論, 教育原理, 教育行政論, 幼稚園実習 他)

■知的障がい者とアート

近年、知的障がい者のアート作品がブームとなっています。知的障がいを持つ人たちの中には、優れた芸術的な才能を持つ人たちがいます。「裸の大将」で有名な山下清画伯などがその代表といえるでしょう。ここでは、知的障がい者アーティストたちを福祉的な立場から支えてきた人に視点をあてることで、知的障がい者アートのもう一方の魅力について考えてみたい。

担当: 土田耕司 (教授 担当科目: 社会福祉、子ども家庭支援論 他)

■赤ちゃんの世界をのぞいてみましょう！

知れば知るほどその魅力と不思議さに引き込まれていく赤ちゃんについて、脳科学の進歩等でわかってきたことも含めてお話したいと思います。もっと知りたい、もっと見ていたい、もっとかかわりたい、そんな時間になればと思います。

担当: 三好 年江 (教授 担当科目: 保育原理、乳児保育、子育て支援、保育所実習 他)

■アート入門 (造形ワークショップ): ようこそ! 2000 年後の世界へ

私たちの身近にある日用品が 2000 年後に発掘されたら、一体どうなっているのでしょうか。

2000 年後の未来を想像しながら、身近な物を「紙の化石」にしてみましょう。

※約 20 人 (最大 24 人) までのワークショップ形式、材料費等については要相談。

※場所: 本学美術教室 (T408)

担当: 柴川敏之 (教授、現代美術家 担当科目: 図画工作、表現Ⅲ他)

■ヴォーカル・トレーニング

正しい腹式呼吸と発声法によって、より豊かな歌声を作るための歌唱実技を行います。また、うために必要な姿勢や筋力など、身体の機能を高めるトレーニングを実践します。」

担当: ズビャーギナ 章子(准教授 担当科目: 音楽Ⅰ、音楽Ⅳ、音楽Ⅴ 他)

生活実践科学科

■「ら抜き」って何？

時々メディアで「若い人のら抜き」が取り上げられています。ところで、「ら抜き」は正確にはどのような現象を指すのでしょうか。岡山育ちの人にはピンとこないはずです。

担当 森安 秀之 (教授 担当科目: 英語 他)

■短歌一創作・鑑賞入門／郷土ゆかりの文学者

高校生を対象として、短歌の創作を基礎から指導します。地元ゆかりの文学者 (倉敷市連島出身の詩人・薄田泣菫など) についてもお話出来ます。

担当：加藤 美奈子（教授 担当科目：日本語表現法、近現代文学講義 他）

■おいしさの秘密に迫る—うま味の発見とだし

食事の際に、おいしさを判断する決め手となるのが、うま味などの基本味です。うま味とその発見につながった日本の伝統的なだしについてお話をします。

担当：三宅 統（准教授 担当科目：栄養学 他）

■ファッションデザイン入門:ペーパーファッション制作

私たちの生活に密着している衣服の成り立ちや歴史をコンパクトに解説しながら、実際にトルソを使って紙という身近な素材を使いイメージを造形にする「ペーパーファッション」ドレス作りに挑戦してみましょう。

※約 20 人までのワークショップ形式（グループワーク）、材料費等については要相談。

担当: 久保 美沙登（准教授 担当科目:ファッションデザイン実習 他）

■国際化時代にむけた健康情報：健康生活を送るために

日本の病院等をはじめとする医療機関の国際化がどんどん進んでいます。情報が入手しやすくなった今と昔とでは大きく生活が変化しています。これからどんなことを考え情報を入手すべきか考えましょう。

担当: 大友 達也（教授 担当科目:医療関係法規概論 他）

■ゲル化剤

ゲル化剤には大きく分けて、ゼラチン、寒天、カラギーナンやペクチンの4種類があります。それぞれのゲル化剤の特徴や扱う時の注意点を説明します。

担当：渡邊 智美（准教授 担当科目：調理実習 他）